

新入荷商品のご紹介



夏の涼やかな雰囲気をかもしだす、ほおずきの柄の麻の名古屋帯です。この季節にぴったりです。

野口 夏名古屋帯

96800円



和装をまとい夏の強い日差しを避ける日傘姿は、粋であこがれてしまいます。浴衣や夏の着物はもちろんですが、洋装でも使えるおしゃれなデザインです。

栗山工房 日傘

35200円



大ぶりで大容量の山ぶどうバッグ。通常より細かな編み目と丁寧な手仕事でなめらかな手触りです。

衿秀 山ぶどうバッグ

96800円



2色使いのバラの柄を配し、しっかりと眼鏡を守ってくれて、バッグの中に持ち運ぶ際も華やかでウキウキするデザインが秀逸です。

印伝 眼鏡ケース

10450円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2022年8月号

ごあいさつ

最近、ゲリラ豪雨で一気に降ることが多く、7月の終わりに西尾市で降った時は河内屋の中庭が池のようになりました。幸い大きな被害はありませんでしたが、これからの時代、ゲリラ豪雨での被害を想定しなければいけない時代が来たかもしれません。次回9月の大創業祭で特集する山形県の織物の産地でも豪雨被害がありとても心配です。皆さんも備えあれば憂いなしです。



9月の連休 9月より第1・第3水曜日も定休日とさせていただきます。

9月6日(火) 7日(水) 20日(火) 21日(水)

特集 みちのくの機音（米沢の織物）



先日の豪雨で山形県長井市白鷹町など置賜紬の産地が大きな被害にあいました。置賜紬の産地は最上川流域に広がる日本有数の織物の産地で、その昔からの有名な米沢藩主上杉鷹山の政策により養蚕と織物が発展した土地です。その、最上川が先日の豪雨で氾濫し大きな被害をもたらしました。それらの地域で今なお織られている織物が置賜紬です。置賜紬とは決められた一つの織物というわけではなく、様々な紬が集まり置賜紬

と呼ばれています。紬などがこの地域の代表的な織物になります。また仙台平という袴番有名なのは紅花紬。そして、当店でも何度もご紹介している白鷹お召や長井の生地も米沢で織られているものが多ようです。江戸時代に一大産地となった米沢ですが、古代布と呼ばれる農耕が始まる以前から衣食住のすべてを森や自然に負う生活の中から生まれた『しな布』や『からむし織』なども現代に少しづつではありますが、継承されています。何度も新聞などで書いていますが、コロナの影響や今回のような豪雨災害で織物の工房もダメージを負っていますが、少しでも多くの織物が後世に残っていくことを心から願ってやみません。

9月の大創業祭では米沢の織物を特集いたします。

SNSで情報発信中!

かわちやの新着商品や産地のことものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<https://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539